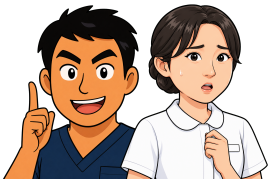
坂コー先生の ICU 1枚まとめ　No.2

熱が出たら、下げる前に
確かめる3つ



① いつから・どんな速さで
いつから、どのような速さで熱が上がったか。

② ほかの変化
心拍数・血圧・呼吸・意識、悪寒やふるえ。
直前の新しい薬・輸血、測定部位・方法の変化。

③ 何がつらいか
つらさを和らげる？ 体の負担を減らす？
下げて、この人の何をよくしたいかを決める。

下げたら解決、とは限らない
原因は感染だけではない。解熱しても原因の解決とは別。
冷却によるふるえ・不快、薬の前後の反応（血圧など）も。

研究から：数字だけを目的にしない
一律の解熱で予後がよくなるとは示されていない。
体温の数字だけのルーチン解熱薬は避ける（弱い推奨）。
つらさを和らげる意味は別。心停止後などの管理は別。

対応後：体温だけでなく、つらさ・ふるえ・心拍数・血圧・呼吸の経過を伝える。特別な管理はチーム方針で。
血圧低下・意識や呼吸の急変は、解熱後を待たず報告。

学習用のまとめです。実際の判断は医師の指示・施設の手順に従ってください。急な悪化は経過を待たず報告を。

1. O'Grady NP, et al. SCCM/IDSA 新規発熱の評価ガイドライン. 2023.
2. Young P, et al. HEAT trial. N Engl J Med. 2015;373:2215-2224.

くわしい解説：ns-sakaki.com

坂コー先生（急性・重症患者看護専門看護師）／2026年11月14日

https://ns-sakaki.com/2026/11/15/fever-before-cooling/